

目 標		①身体を動かすことを喜び、いろいろな遊びを楽しもうとする ②保育者や友だちに親しみを持ち友だちと触れ合いながら安心して自分のしたい遊びに取り組む ③身近な自然に触れ興味関心を持つ ④自分で感じたことや考えたことを自分なりの方法で表現しようとする										
期	Ⅰ 期		Ⅱ 期		Ⅲ 期		Ⅳ 期		Ⅴ 期			
月	4. 5 月		6. 7. 8 月		9. 10. 月		11. 12 月		1. 2. 3 月			
育 子 で た も の 側 姿 と 面	(新入園児) ・新しい生活に期待をもっているが 反面、不安もあり泣く子もいる。 ・保育者と一緒にいることで徐々に活動を広げられるようにしていきたい。 ・初めは一人で遊ぶことが多いが、次第にそばにいる友だちに関心をもってきている。 ・友だちと一緒に遊ぶ楽しさを、保育者が仲立ちとなって知らせていく。		(進級児) ・2 歳児の時の保育室や保育者を懐かしんだり、2 歳児クラスで一緒だった友だちと遊んだりする。 ・進級したことを喜ぶ反面、生活の仕方やリズムの違いに戸惑う子もいるので、徐々に新しい環境に慣れていくように見守る。自分の好きな遊びをしたり身の回りの事を自分で少しずつ出来たりするようにしたい。		・園生活のリズムをつかみ始め泣く子どもが少なくなる。 ・保育者に親しみ、安定するにつれて、新しい活動にも自分から取り組み、遊びの場を広げている。 ・さまざまなことに好奇心をもつようになり、自分でいろいろ試してみる姿が見られるので生活や遊びの中で見たり触れたり試したりする喜びを味わえるようにしていく。 ・自己主張するようになり、友だちとぶつかり合うことが多くなる。そうした機会を通して、友だちの存在に気づきかかわり方を知らせていく。		・園生活を楽しくし、自分のしたい遊びに夢中になる子どもがいる反面、休み明けに不安定な子もいる。個々の様子を把握しながら、一人ひとりが十分に楽しめるように援助していく。 ・基本的な生活習慣などに個人差が見られるが成長を見守りながら自分で出来る喜びを味わえるようにしていく。 ・園生活を楽しく、思い切り身体を動かして遊ぶことが多くなる。 ・身近な虫や草花に触れ、興味を持って遊ぶ姿が見られる。 ・仲間意識が芽生え、友だちと同じ遊びをすることを楽しむが、自分の思いを通そうとしてトラブルが起こることもある。その中で相手の気持ちにも徐々に気づくようにしていく。		・友だちと一緒に同じ遊びをする楽しさがわかり始め、遊びが広がってきている。 ・友だちと遊ぶことを好み、ひとつの遊びが持続できるようになるので、十分に楽しめるようにしていく。 ・秋の自然物を使って遊ぶ姿が見られる。 ・思ったことや感じたことを自分なりに表現することを楽しむようになるので、思いのままにのびのびと表現する喜びを感じられるようにする。		・友だちを誘ったり、誘われたりする姿が見られグループのメンバーが固定化しつつある。 ・園生活の仕方が分かり、できる事は、自分なりにやろうとする気持ちを大切にし、出来た喜びを味わえるようにする。 ・雪や氷に触れて、冬の自然に興味や関心を持って遊んでいる。 ・友だちとのかかわりも深まり安定した気持ちで園生活を送れるようになるので、この一年間で成長したことを共に喜び進級の楽しみにつなげていく。 ・歌う曲に合わせて動くなど、さまざまな表現活動を楽しむようになるので、その子なりの表現を認めながら、表現する楽しさを味わえるようにする。	
	ね ら い	・園生活に慣れ、喜んで登園する。		・園生活に慣れ、保育者に親しみを持つ。		・保育者や友だちといろいろな遊びを楽しむ。 ・遊びや生活に必要な約束や決まりがあることを知り、守ろうとする。		・友だちと一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ・のびのびと身体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。		・遊びの中で友だちと触れ合い活動を楽しむ。 ・経験したこと、感じたことなどを自分なりに表現する。 ・身近な自然に触れ、興味関心を持つ。		
内 容	心と身体	・食事、排泄、手洗いうがい、着脱、持ち物の整理など基本的な生活の仕方を知り、保育者に手伝ってもらいながら自分なりにしようとする。 ・室内や戸外で安心して遊具を使って遊ぶ。 ・弁当や給食が友だちや保育者と楽しく食べられるようになる。 ・喜んで登園し、園生活の過ごし方を知る。		・身の回りの事を自分で進んでしようとする。 ・園の環境に慣れ、自分の好きな場所を見つけて遊ぶ。 ・保育者や友だちと身体を動かすことを楽しむ。 ・食事のマナーや箸、食器の正しい使い方を知る。		・身の回りの事を自分で手順よくしようとする。 ・身体を十分に動かして遊ぶ。 ・みんなと一緒に食べる喜びを味わう。 ・友だちと同じ活動に参加し、みんなと一緒にすることを喜ぶ。		・健康に必要な習慣を身につける。 ・いろいろな運動遊びに取り組む。 ・いろいろな食材に触れ食べる事を楽しむ。		・身の回りの事ができ、自信を持って生活をする。 ・全身を使った遊びを楽しみ、寒さに負けず戸外で元気に遊ぶ。 ・正しい食事のマナーが身に付く。		
	人間関係	・自分のクラスが分かり、保育者や友だちに親しみを持って、生活や遊びをする。 ・保育者や友だちに気持ちよく挨拶をしたり、名前を呼ばれたら返事をしたりする。		・友だちのすることを見たり、まねたりしながら、一緒に遊ぼうとする。 ・トラブルを通して友だちの存在に気づき、かかわり方を知る。 ・おもちゃの片付けの仕方を知る。		・友だちと好きな遊びを楽しむ。 ・異年齢児と触れ合う。 ・見たり触れたりして秋の自然に親しむ。		・友だちと好きな遊びを繰り返し楽しむ。 ・異年齢児と楽しく遊ぶ。 ・友だちと同じ遊びをし「みんなと一緒に」にすることを楽しむ。		・友だちと一緒に遊びの場を探したり、作ったりしながら、それぞれのイメージを出し合って遊ぶことを楽しむ。 ・友だちが困ったとき慰めたり、手助けをしようとする気持ちが芽生える。		
環境	・砂場や泥、水、などの自然物で遊ぶ。 ・身近な草花や小動物に触れる。		・水、泥、砂など自然の素材に触れる遊びを十分に楽しむ。 ・身近な動植物に親しみを持つ。 ・夏野菜の生長の様子に気づき収穫を楽しむにする。		・遊びの中で遊具の安全な使い方や片づけの仕方がわかる。 ・身近なものの色・形・大小・多い少ないなどの違いに気付く。		・自然物を集め、それを使いいろいろな遊びをする。 ・身の回りのものを大切に扱おうとする気持ちが持てるようになる。		・冬から春への自然に触れ、変化に気付く。 ・遊んだ後片づけをするときれいになる心地良さが感じられるようになり、進んで行く。			
言葉	・みんなで一緒に絵本や紙芝居を見たり、聞いたりすることを楽しむ。 ・生活に必要な挨拶がわかり言おうとする。		・絵本や紙芝居を楽しむ。 ・したい事、して欲しい事を保育者に言葉で伝えようとする。		・自分の経験したことを保育者や友だちに話そうとする。 ・遊びや会話の中で生活に必要な言葉を知っていく。		・生活に必要な言葉が使えるようになる。 ・簡単な伝言ができるようになる。		・自分の思いを素直に言葉に出して表現する。 ・保育者や友だちの話の聞いたり、自分の思っている事を進んで話したりする。			
表現	・知っている歌や曲を自分なりに楽しく歌ったり、身体を動かしたり手遊びを楽しんだりする。 ・クレパスや粘土などの正しい使い方を知り、喜んで描いたり、作ったりする。		・友だちと一緒に歌ったり、いろいろな音のものに触れたりする。 ・いろいろな素材に触れて遊ぶ。		・友だちや保育者と思いつき身体を動かして表現する心地よさを味わう。 ・自分なりのイメージをもって描いたり、作ったりすることを楽しむ。		・さまざまな楽器を友だち同士で自由に鳴らして楽しむ。 ・自分の感じた事、思った事を表現してみようとする。 ・いろいろな素材を使って自分なりに工夫してみようとする。		・いろいろな事を表現する喜びを味わったり、友だちの表現を見て楽しんだりする。 ・自分なりに工夫して作った物を使って遊ぶ事を楽しむ。			
評価と課題												